

学習会

本年度の事業は、連携事業実行委員のほかに防災担当者と社会福祉協議会職員が加わり行った「女性防災リーダー養成プログラムに関する学習会」から始まりました。多様な視点からの防災に第一線で取り組む講師と、防災に積極的に力を注ぐ地域の方をゲストに迎えた本学習会を経て、各市の地域特性に即した実践的な講座企画を練り上げました。「防災と男女共同参画」に関わる職員が取組継続に向けて力を養う貴重な学習会となりました。

第1回 平成29年5月29日 10:00～12:00

目的

- 防災担当課、関連機関への本事業への理解促進と連携の可能性の検討
- それぞれの市の取り組み、課題等から今後の事業の方向性を検討する（プレイベント、養成講座の内容、対象）

内容

- ・オリエンテーション、主催者挨拶
- ・参加者自己紹介
- ・講義「男女共同参画の視点からの防災について」
講師：浅野 幸子 氏
- ・3市の防災について

参加者（計14名）

- | | |
|-------|---|
| 清瀬市 | 企画部 男女共同参画センター職員
総務部 防災防犯課職員
社会福祉協議会職員 |
| 東久留米市 | 市民部生活文化課 男女共同参画係職員
男女平等推進センター職員
環境安全部 防災防犯課職員
社会福祉協議会 ボランティアセンター職員 |
| 西東京市 | 生活文化スポーツ部 協働コミュニティー課職員
危機管理室職員 |

第2回 平成29年6月21日 10:00～12:00

目的

- 地域の防災活動の取り組みと課題から、今後の事業の方向性と内容の検討（プレイベント、講座、交流会の内容、対象）

内容

- ・オリエンテーション（学習会の目的について）
- ・講義「男女共同参画の視点からの防災について 具体的に考える～地方自治体取り組みの好事例」と学習会第1回目の振り返り
講師：浅野 幸子 氏
- ・報告「地域防災活動の好事例、現状と課題等」

① 防災まちづくりの会・東久留米

代表 郷野正臣氏

平成14（2002）年から東久留米市を「災害に強いまちにする」活動を展開している。現在会員57人。多くはリタイアした男性。



活動内容

- ・「防災まちづくり学校の企画運営」
- ・防災訓練への参加
- ・小中学校や自治会へ出前講座
- ・自主防災かわら版発行
- ・小中学校避難所運営連絡会に協力
- ・発行物：避難所運営の手引き一女性の視点から

地域の防災力アップをめざし、女性の参加者を募集している。

② 氷川台自治会

会長 殿田俊三氏

東久留米駅から徒歩10分ほどの高台にある住宅地の自治会（352世帯）では、トータル的な活動の中で防災にも取り組んでいる。地域のコミュニティができあがると、地域住民のニーズがわかり、その対応ができるようになる。



「自分たちの安全は自分たちで守る」を柱に、「災害弱者やライフラインも地域で守る」を基本とし、自分たちのエリアの被害想定をデータから推測し、防災の取り組みを進めている。昼間に地域にいない若い世代も休日は自治会活動に協力し、後継者も育ってきている。

また、避難者受難者受け入れ住宅などの登録制度も地域の中から生まれてきている。防災訓練も自助・共助をベースにした支援体制の強化をも目的として、過去の訓練の成果から新たな課題発見、解決へとPDCAサイクルを回している。

③MACHINI-WA HIBARIGAOKA

一般社団法人まちにわ ひばりが丘 事務局長 高村和明氏

ひばりが丘団地の建替事業に伴う地域づくりの活動を2015年から行っている一般社団法人。コミュニティセンターの運営、情報発信、イベントなどで地域づくりし、地域活動コーディネーター養成講座で人材育成もしている。



地縁のないマンション住民にマンション防災を考えてもらうのも地域課題の解決の1つである。防災講座を開催し、「マンション住民は避難所に行かない」という現実を知ってもらい、発災時のマンション内避難について考える。

「良き避難者になる」をコンセプトに、災害弱者やトイレ問題についても知見を深めている。防災への意識は時間とともに薄れがちなので、様々なイベントで住民が主役の訓練を行っている。

- ・各市の防災の取り組み
- ・プレイベント、女性防災リーダー育成講座、交流会各市のねらい、期待する成果、来てほしい参加者のイメージ、企画内容

参加者 (計14名)

第3回 平成29年6月26日 10:00～12:00

目的

- 事業（プレイベント、講座、交流会）内容の決定と事業を効果的に展開する連携、広報等の検討

内容

- ・「男女共同参画の視点からの防災を実施するために」講師：浅野 幸子氏
- ・各市防災の取り組み（現状と課題）
- ・各市の話し合い1（上位目標と対象、各イベントの狙いの確認）

清瀬市

要配慮者支援に対応する人が増えている。自助・共助の必要性を知ってもらい、広める。ニーズに対応できる力や知識を得て、連続講座で

顔見知りができ、ネットワークづくりにつなげたい。



東久留米市

女性の参画の観点からロールモデルとなる団体が元気に活動し、横の連携が広がり、定期的な交流会が開催されている。

知識習得だけでなく、女性の参画の実践につなげるよう参加型を重視。



西東京市

災害時に要配慮者へのニーズに対応する視点を持ち、応えられる人が増える。それを発信できる人が増える。

関係者のワークづくりをし、地域防災への視点、要配慮者、女性への視点を理解する

・各市の話し合い2（企画を固める）

清瀬市

プレイベントに避難所運営委員会の人に参加していただき、感想をもらう。

トイレ問題はインパクトがある講座にする。ボランティアの人、社協、PTA、防災関係の職員などにも参加を呼びかける。

3回連続参加の方には修了証を渡す。

東久留米市

プレイベントでは、地域の防災を自分事として捉え、多様な視点、男女共同参画の視点から防災への理解を深める。連続講座では、防災が地域づくりにつながることへの理解を広げると同時に、女性が参画しやすい土壌づくりをめざす。

西東京市

プレイベントでは災害時に、要配慮者への支援に必要なことを知る。

ボランティアセンターなど関係団体との質疑応答にも取り組む。

危機管理課の職員などともつながる。トイレ問題も関心事として考える。



- ・各市発表+相互に講評
- ・各市の話し合い3（修正や今後の確認事項等整理）

参加者 (計12名)